

◆ HTML とは

HTML とは **H**yper**T**ext **M**arkup **L**anguage の頭文字を採ったもので、Web ページ用の文書を記述するために開発された言語のことです。

HTML の大きな特徴としては、ハイパーリンク機能を持ち、文書のある部分から他の文書へと次々に情報をたどっていくことができることです。

過去の仕様では、HTMLでWebページのレイアウトやデザインを行っていましたが、現在では、Webページの文書構造をHTMLで行い、レイアウトやデザインはCSSで行うというように、分離して作成することが推奨されています。この HTML、CSSは W3C(World Wide Web Consortium)という国際的な非営利団体が、仕様の協議決定を行っています。

◆ HTML の基本書式(要素・タグ・属性) P34

`<p>このサイトは HTML5 で記述しています</p>` ← 要素

↑ 開始タグ ↑ 終了タグ

タグの種類はいろいろとありますが、これらタグには役割があります。段落なら「p」、大見出しなら「h1」、というように役割に合わせたタグで内容をくります。

`Google のページへ`

↑ 属性名 ↑ 属性値

`<開始タグ 属性名="属性値">`

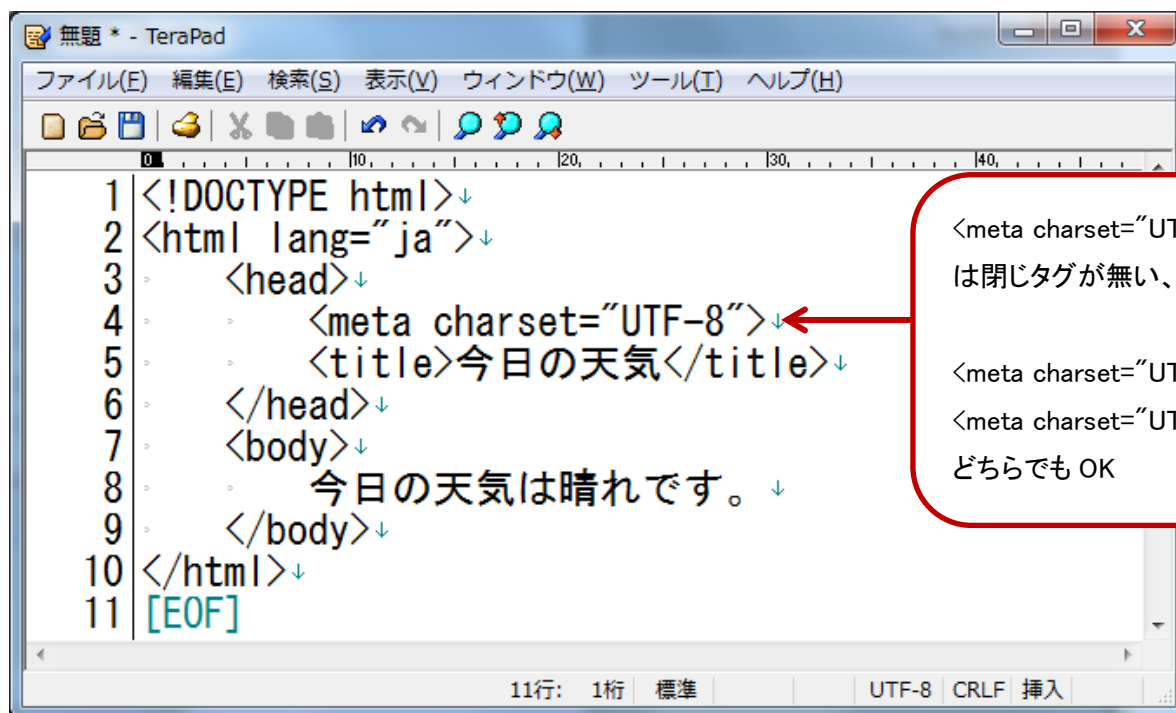
開始タグの中には「属性」とよばれる追加情報を記述することができます。例えば、「a」タグはリンク先を指定するタグですが、どこにリンクをするかを「href」属性で指定します。属性値となる「https://www.google.co.jp/」は引用符(“)でくります。

◆ HTML の記述について P40

- ・タグや属性名は半角英数で記述
- ・ソースは字下げをして読みやすく記述
- ・属性の値は""で囲む
- ・ファイル名は半角英数で保存する
拡張子は「.html」
- ・保存時の文字コードは「UTF-8」

◆ HTMLドキュメントを記述 P39

入力します。

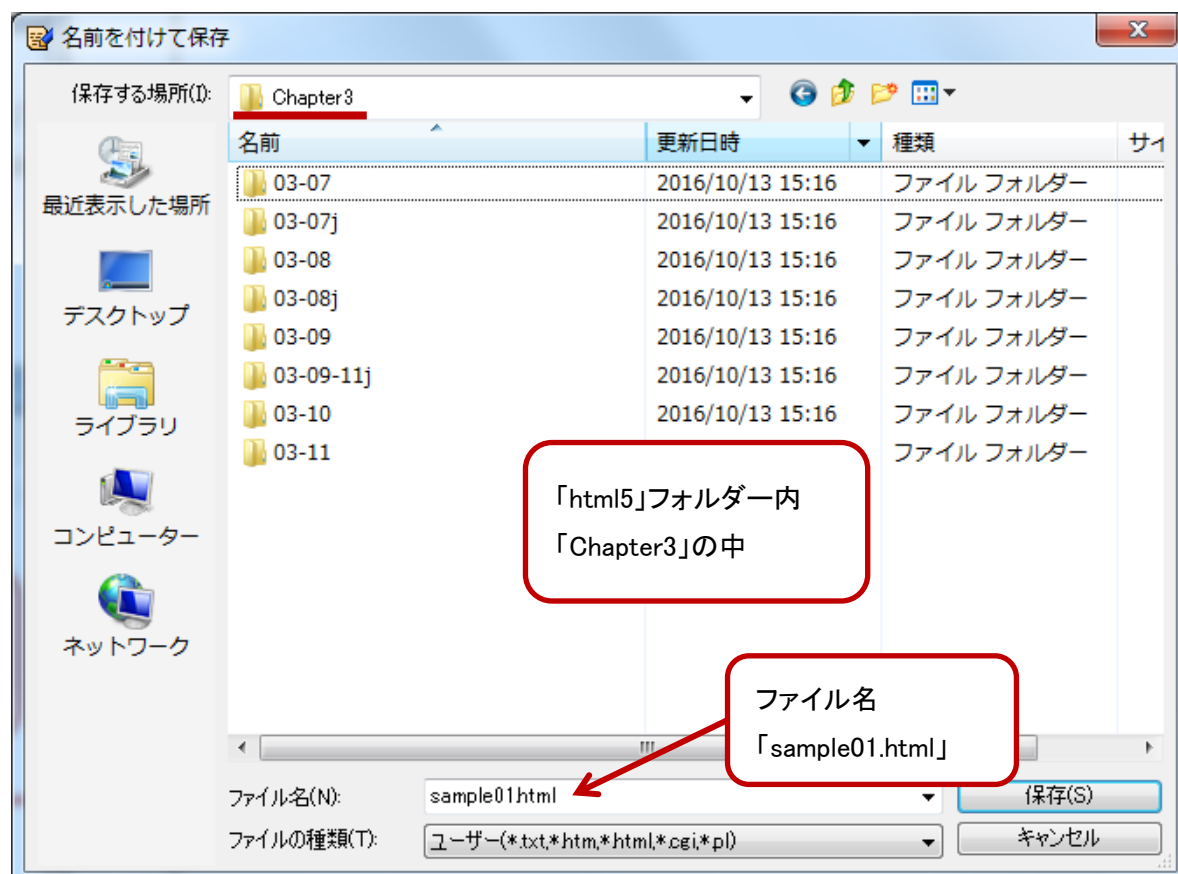


閉じタグの必要がない要素を空要素といいます。

空要素の末尾にある「 />」のスラッシュは付けても付けなくてもどちらでも良いです。

(HTML5 以前では XHTML1.0 が主流で現在も良く使われています。XHTML1.0 ではこのスラッシュは省略できません。)

保存します。



■使用した要素 P41～51

●基本構造

<!DOCTYPE html>・・・DOCTYPE 宣言 HTML5 に準拠したコードであることを示す

<html>要素ページのルート要素(最上位の要素)

<head>要素ページの基本情報(ページタイトル、メタ情報を内包)

<body>要素ページの本文

<meta>要素メタ情報(ページ全体に関わる基本データ)

<title>要素ページのタイトル

●<body>要素内のコンテンツ作成

・<h1>～<h6>見出し

・<p>段落

・
改行

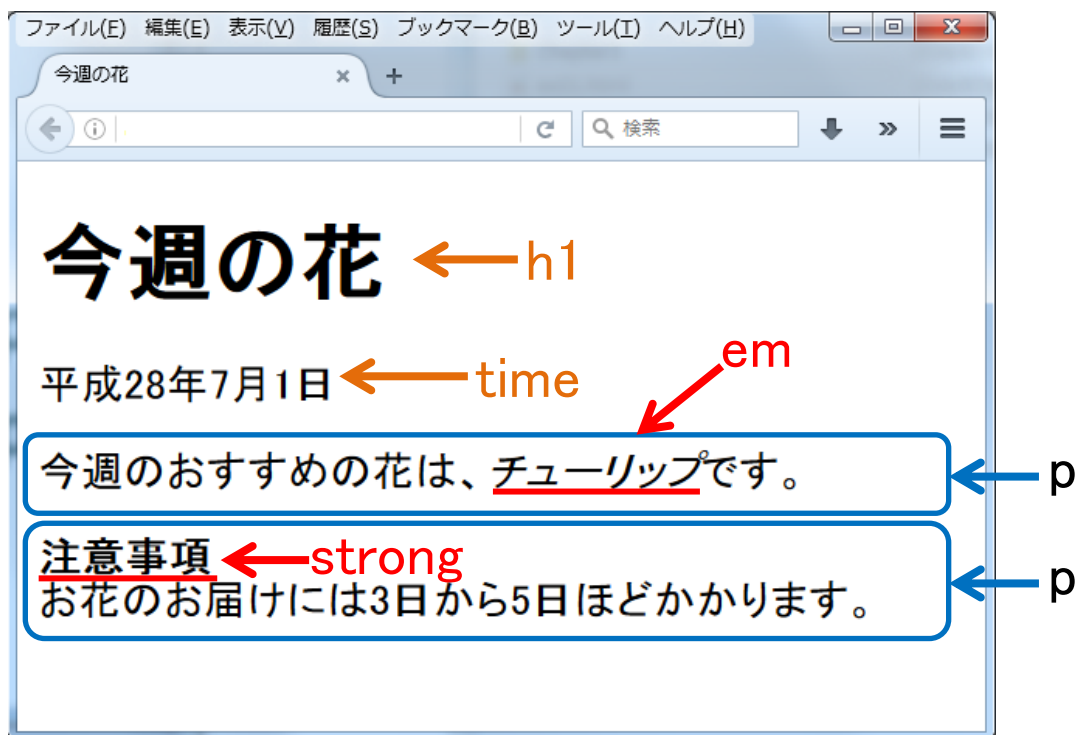
・<time>日時を示す(ブラウザや検索エンジンに正確な時間を読み取れるようにする)

・強調ワード

・重要度が高いワード

・重要度はないが注意を引きたいワード

P51 実習 1 ファイル名「ex01.html」



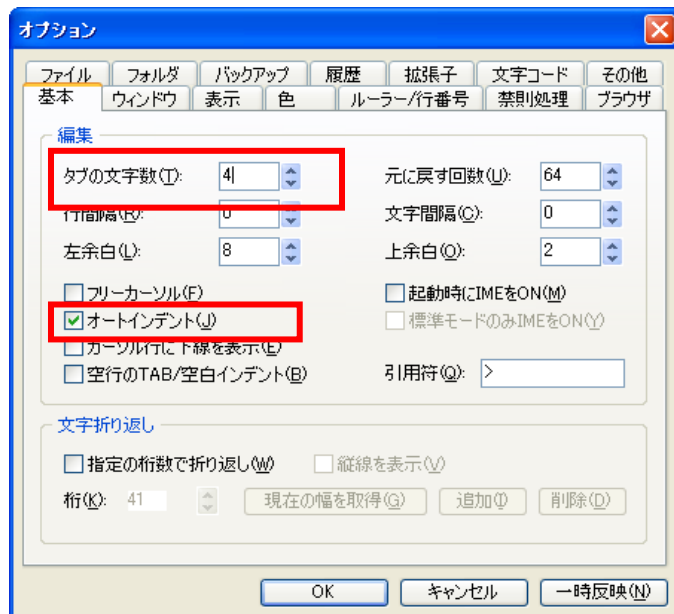
◆ 実習準備

★ TeraPadの設定

ソースコードはテキストエディタを使用して作成します。

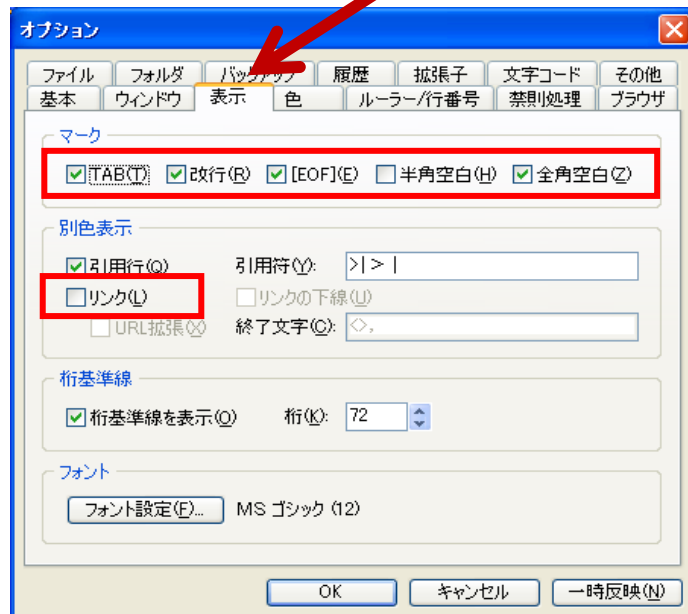
授業では「TeraPad」を使用します。インストール後、以下の設定を行ってください。

[表示] タブ



「タブの文字数」 → 4

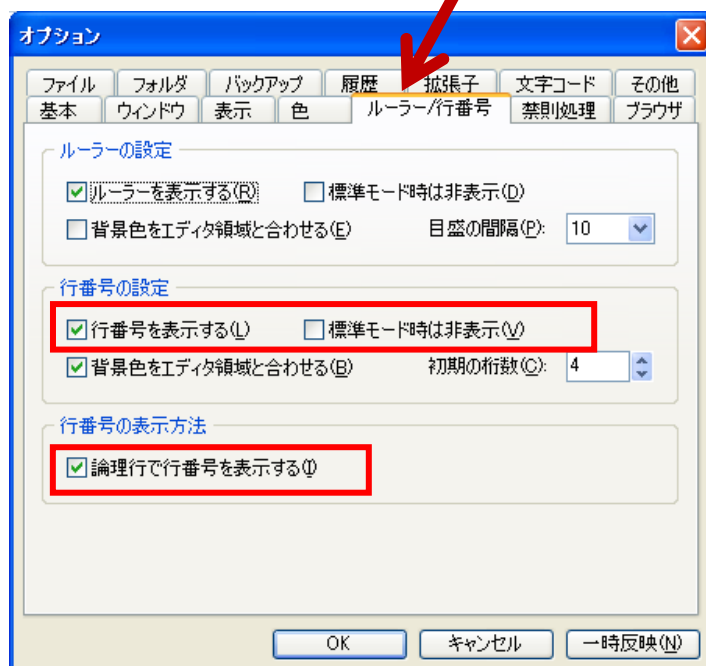
「オートインデント」 → ON



「TAB」「改行」「EOF」「全角空白」 → ON

「リンク」 → OFF

[ルーラー/行番号] タブ

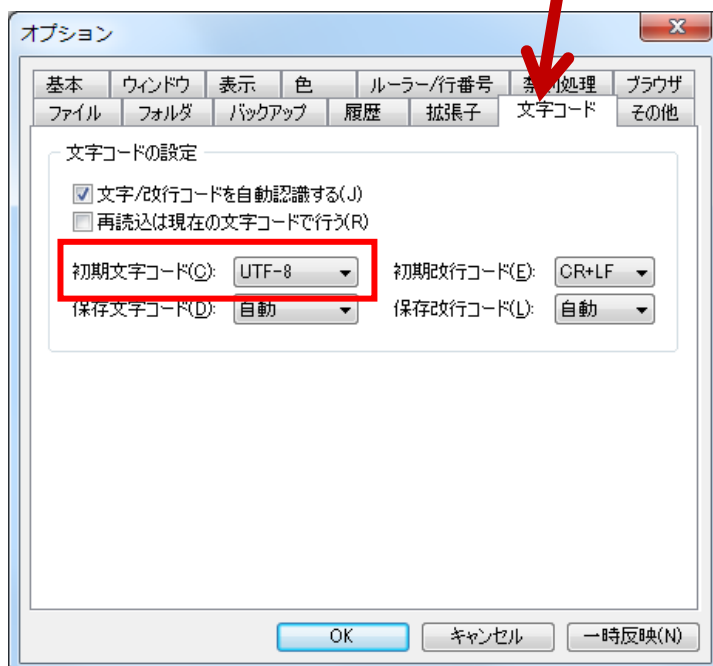


「行番号を表示する」 → ON

「標準モードは非表示」 → OFF

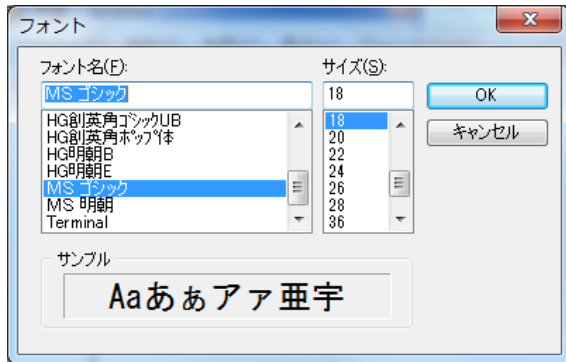
「論理行で行番号を表示する」 → ON

[文字コード] タブ



「初期文字コード」 → 「UTF-8」

[表示] → [フォント] 文字サイズの変更ができます。



★ 実習データの準備

